

第5回小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：令和7年5月28日（水）午前10時から

場所：前原暫定集会施設 A会議室

- 1 開会
- 2 委員・事務局紹介
- 3 副会長の互選について
- 4 報告事項
 - (1) 令和6年度の実績報告及び令和7年4月までの実績報告について
 - (2) 業務評価報告書（令和6年度）について
 - (3) 令和6年度巡回相談事業の実績報告について
- 5 協議事項
 - (1) 令和7年度巡回相談支援事業について
 - (2) 令和7年度講演会・研修会開催予定
 - (3) 今後の開催日程について
- 6 その他
- 7 閉会

■配布資料

- 資料1 小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
- 資料2-1 児童発達支援センター運営協議会への実績報告（令和6年度）
- 資料2-2 児童発達支援センター運営協議会への実績報告（令和7年4月）
- 資料3 小金井市児童発達支援センターきらり業務評価報告書（令和6年度）
- 資料4 きらきらサポート2024報告書
- 資料5 令和7年度巡回相談事業について
- 資料6 令和7年度講演会・研修会開催予定
- 資料7 令和7年度運営協議会開催予定

小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿

	氏名	選出区分	所属	任期
1	いわた わか 岩田 和香	市民公募	市民公募	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで
2	もりた たかこ 森田 たか子		市民公募	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで
3	はら えまい 原 咲舞		市民公募	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで
4	みうら ともこ 三浦 朋子	市内関係団体	たけのこ会代表	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで
5	いしかわ だいき 石川 大貴		小金井市障害者地域自立生活支援センター	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで
6	わたなべ たかゆき 渡邊 孝之		民間幼稚園長会 (せいしん幼稚園 園長)	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで
7	ふるかわ ちかこ 古川 史子		民間保育園長会 (アンジェリカ東小金井保育園 園長)	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで
8	むらやま たかし 村山 孝	学識経験者	東京都立小金井特別支援学校 校長	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで
9	おがわ よしひろ 小川 順弘		モンゴル・マルガド大学 名誉教授	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで
10	きとう あゆむ 佐藤 歩	関係行政機関	小金井市立小中学校校長会 (本町小学校 校長)	令和6年4月1日から 令和8年3月31日まで
11	とみた えみ 富田 絵実		こども家庭センター長	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで
12	かみじま ひびき 上島 響		教育委員会指導室指導主事	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

※敬称略

児童発達支援センター運営協議会への実績報告（令和7年度）

令和7年4月30日現在

	令和7年										令和8年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	15件												15件	
②相談支援事業（専門）	54件												54件	
③相談支援事業（ ㊦ ）	66件												66件	

	令和7年										令和8年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	21人												-	
⑤放課後等デイサービス	49人												-	
⑥保育所等訪問支援事業	1人												-	
回数	0回												0回	
⑦親子通園事業	13人												-	
回数	4回												4回	
⑧外来訓練事業	139人												-	
回数	294回												294回	
⑨巡回相談事業	0回												0回	
その他	市民向け講演会・支援者研修・保護者学習会等													

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（ ㊦ ）	相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施延べ回数（人数）
⑦親子通園事業	登録者数及びグループの実施回数（1グループ1回とカウント）
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施延べ回数（人数、グループも出席人数）
⑨巡回相談事業	巡回訪問実施回数（きらきらサポート）、学童巡回相談

児童発達支援センター運営協議会への実績報告（令和6年度）

令和7年3月31日現在

	令和6年										令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	25件	7件	19件	21件	20件	14件	18件	34件	19件	9件	13件	11件	210件	
②相談支援事業（専門）	67件	92件	97件	114件	116件	116件	145件	119件	116件	147件	128件	131件	1,388件	
③相談支援事業（ ㊦ ）	73件	83件	101件	103件	92件	78件	100件	104件	82件	73件	77件	82件	1,048件	

	令和6年										令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	-	
⑤放課後等デイサービス	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	-	
⑥保育所等訪問支援事業	1人	2人	4人	4人	4人	4人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	-	
回数	0回	4回	5回	5回	5回	6回	6回	6回	5回	6回	4回	0回	52回	
⑦親子通園事業	19人	20人	21人	21人	23人	25人	25人	30人	33人	33人	33人	33人	-	
回数	5回	9回	5回	8回	8回	11回	11回	11回	12回	12回	11回	7回	110回	
⑧外来訓練事業	146人	149人	152人	154人	154人	156人	157人	160人	160人	160人	160人	160人	-	
回数	302回	283回	330回	282回	289回	321回	299回	301回	306回	348回	278回	298回	3,637回	
⑨巡回相談事業	0回	1回	11回	5回	1回	8回	14回	4回	6回	10回	9回	0回	69回	
その他	研修・講演会等													

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（ ㊦ ）	相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施延べ回数（人数）
⑦親子通園事業	登録者数及びグループの実施回数（1グループ1回とカウント）
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施延べ回数（人数、グループも出席人数）
⑨巡回相談事業	巡回訪問実施回数（きらきらサポート）、学童巡回相談

小金井市児童発達支援センター きらり 業務評価報告書（令和6年度）



小金井市児童発達支援センター運営協議会 編

令和7年3月

目次

1	運営協議会の目的	1
2	運営協議会の協議内容	2
3	事業と業務評価	3
4	利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）	5
5	経年比較	12
6	総括	14

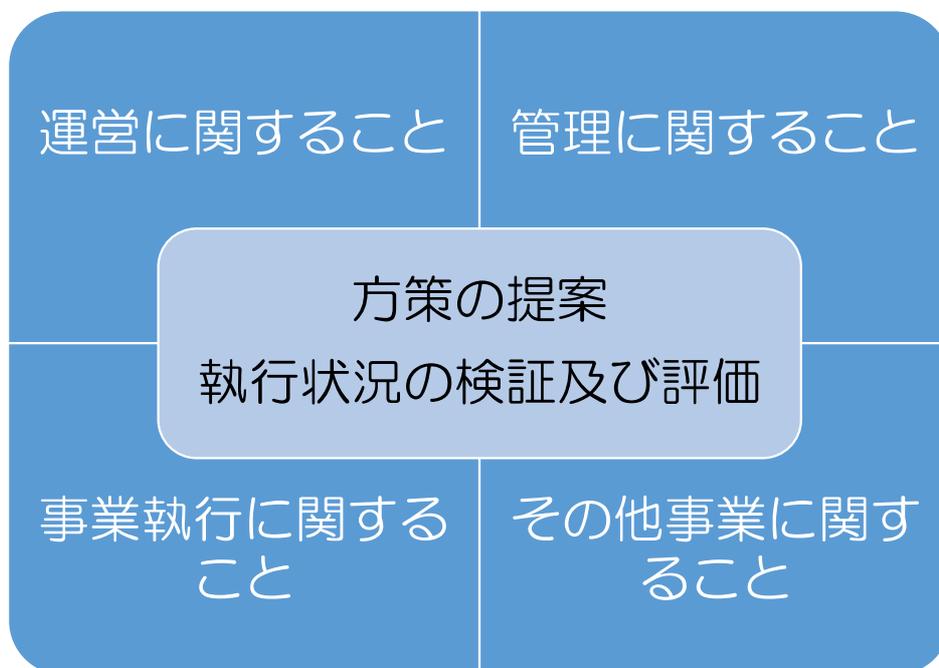
参考資料

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則	15
小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿	16
令和6年度講演会・研修会開催実績	17
令和6年度利用実績一覧	18

1 運営協議会の目的

小金井市児童発達支援センターきらりの運営について、利用者及び関係者の意見を反映し、事業運営の適正化を目的として、小金井市児童発達支援センター運営協議会を設置しています。

協議会の所掌事項



協議会の委員構成

単位：人

センター利用者の保護者	3
市内関係団体代表	4
学識経験者	2
関係行政機関の職員	3

2 運営協議会の協議内容

回	開催日	協議内容
1	令和6年5月29日	1 開会 2 市長挨拶 3 委嘱状の交付 4 委員及び事務局の自己紹介 5 会長及び副会長の互選について 6 会議録の取扱いについて 7 小金井市児童発達支援センター運営協議会の概要について 8 小金井市児童発達支援センターきらりの事業概要について 9 報告事項 (1) 令和5年度及び令和6年4月分の実績報告について (2) 業務評価報告書（令和5年度）について (3) 令和5年度巡回相談事業について (4) その他（連絡アプリ導入、パンフレットの作成・配布等） 10 協議事項 (1) 令和6年度の巡回相談事業について (2) 令和6年度講演会・研修会開催予定 (3) 令和6年度運営協議会開催予定 11 その他 12 閉会
2	令和6年8月28日	1 開会 2 報告事項 (1) 令和6年7月までの実績報告について (2) 令和6年度講演会・研修会の開催予定・実施状況について (3) 令和6年度巡回相談の実施状況について (4) 児童発達支援（通園）の様子について【紹介】 3 今後の開催日程について 4 その他 5 閉会
3	令和6年11月20日	1 開会 2 報告事項 (1) 令和6年10月までの実績報告について (2) 令和6年度講演会・研修会の開催予定・実施状況について (3) きらり保護者向け学習会「保護者座談会」について (4) 巡回相談の中間報告について (5) 外来訓練事業の様子について【紹介】 (6) 次年度の利用者募集について 3 運営協議会委員による業務評価について 4 その他 5 閉会
4	令和7年2月12日	1 開会 2 報告事項 (1) 令和6年12月までの実績報告について (2) 令和6年度第三者評価の結果について (3) 写真のご案内の誤送信について 3 令和6年度業務評価報告書について 4 その他 5 閉会

3 事業と業務評価

(1) きらりで実施している事業

相談支援事業	<ul style="list-style-type: none">・ きらりを利用する際の入り口です。保護者の希望、児童の状況を考えて、次の支援につなげます。また、専門的な相談が必要な児童には専門相談を実施します。
児童発達支援事業	<ul style="list-style-type: none">・ 保護者と離れ、日常生活に必要な基本的な生活習慣の自立を図り、社会への適応を促す療育を行います。週5日の通園事業です。
放課後等デイサービス事業	<ul style="list-style-type: none">・ 小学校に在籍する児童に対し、放課後の時間を利用して、必要な支援や居場所を確保することで、生活能力向上や自立を促します。
保育所等訪問支援事業	<ul style="list-style-type: none">・ 保護者からの要望に応じて施設へ訪問し、児童が集団生活に適応できるよう、支援していきます。
外来訓練事業	<ul style="list-style-type: none">・ 保育施設や幼稚園に籍を置く児童に対し、専門的な訓練を提供し、自立や社会への適応力を促します。
親子通園事業	<ul style="list-style-type: none">・ 幼児との関わり方や遊びを通して、保護者に適切な幼児との関わり方の習得を促します。

(2) 業務評価について

令和元年度までは、運営協議会委員による児童発達支援センターの業務評価として、各委員が児童発達支援センターを訪問し、児童発達支援・放課後等デイサービス・外来訓練・親子通園の各事業について評価を実施していました。

令和2年度以降は、外来訓練・親子通園事業についての利用者アンケート及び児童発達支援・放課後等デイサービス事業についての東京都福祉サービス第三者評価により総合的に評価を実施しました。

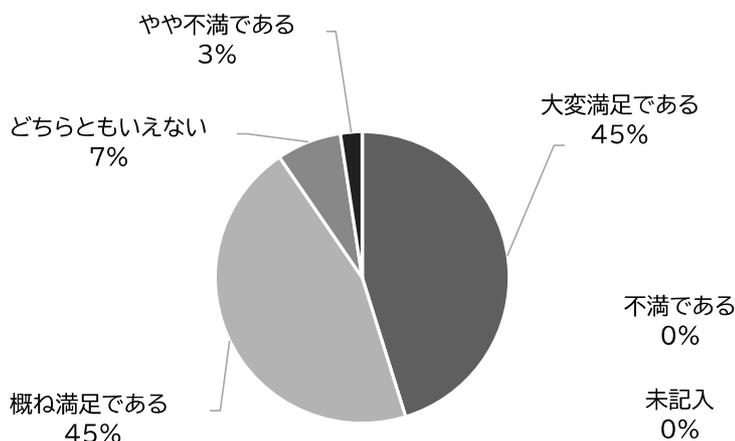
令和6年度についても、昨年度と同様にアンケートを行い、結果等を委員間で共有し、検証を行うこととしました。

4 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）

外来訓練事業

1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

大変満足である	19
概ね満足である	19
どちらともいえない	3
やや不満である	1
不満である	0
未記入	0
合計	42



評価理由

大変満足である★★★★★

- 1 ・療育を受けている本人が、前向きに楽しく通っているため。親としても幼稚園生活では見られない様子が見れることもとても良いと思う。我が子の成長をすぐ目の前で感じ取れることもとても嬉しい。
- 2 ・先生方があたたかく寄り添ってくれて、子供もきらりて過ごす時間を楽しみにしている。
- 3 ・本人は、訓練で制作した作品名を嬉しそうに持ち帰り「ここに飾るのはどう？」と自分の努力が目で見えて分かり、それが次の自信や意欲に繋がっていると思います。
親は、訓練中の心理士さんの対応を実際に見聞きし、実生活でも応用できる貴重な機会になっています。
- 4 ・担当の先生に丁寧に支援・ご対応頂き、親子共々改善してきているため。
- 5 ・子供の苦手なところとじっくり向き合いながら、成長を感じる事ができた。
- 6 ・毎回、担当の先生からのフィードバックや、日々の様子への助言をいただき、子どもも楽しく通っていますし、母の私自身も助けていただいています。
- 7 ・丁寧に指導いただいております、少しずつ改善がみられるため。また、親の不安にも寄り添って話を聞いていただき、家庭の状況を考えた上で、アドバイスして下さるため。
- 8 ・子供の特性を理解し、計画的な訓練をして下さっていると感じています。
- 9 ・子供の分析をして必要なことをやってもらっていると感じていて私も共感しているから。
- 10 ・いつも息子が楽しく通っていて、成長が見て取れます。また家でこうすればよいというヒントも与えて頂けるので、やるべきことがわかりやすくなり、とてもありがたいです。
- 11 ・丁寧に接してくれている。
- 12 ・本人にとって最適な療育をしていただいていると感じている。
- 13 ・とても楽しいそうに取り組んでいます。
毎回、いろんな題材を用意していただいて、大変感謝しております。
- 14 ・正直あまり期待はしていなかったのですが、通園前の不安な気持ちが嘘のように期待以上の成長が見られ、通園してよかったなと思っています。
- 15 ・子どもの特性をしっかりと理解して下さり、課題に取り組めるような声掛けや促しをしてくれています。また、いろいろな心配ごとに分かりやすくアドバイスをして下さり、親にも寄り添ってくれるので、相談すれば安心するという気持ちになります。とても、感謝しています。
- 16 ・直接先生とお話しして質問できる機会があると専門的な視点で息子の様子を教えて頂けるから。

概ね満足である★★★★

- 1 • 去年と違い、今年担当いただいている方からはアドバイスをいただける。OT、STなど年間の固定ではなく幅広く受けられるとよりいいのには思う。
- 2 • 先生が熱心で子供もキラリ好きっていつも言っています。
- 3 • 子供は楽しみながら通っており、親も相談や話を聞いていただき、精神的に支えてもらえているからです。
- 4 • 今年でさらに4年目になるのですが、幼児期の難しい子育てによりそっていただき、無事に幼児期の子育てが今年で終わりました。ありがとうございます。
- 5 • 訓練は本人に合せて行ってくれるのが良い。訓練以外の生活で困ったことにも、相談にのってもらえる。小学校入学前にこんな準備が必要など教えてもらえてありがたい。
- 6 • こどもが出来ていること、苦手なことが明確になり、就学に向けて準備をしやすくなったため。また相談にのってもらうこともできたため。
- 7 • 先生がとても素晴らしいです。
子供のやりたいことを尊重しながら、引き延ばしてくれず。

どちらともいえない★★★

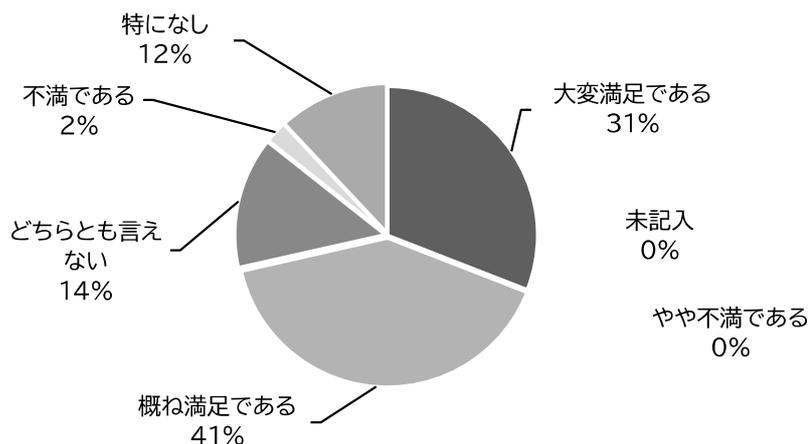
- 1 • 支援なのに有料なんだ…遊びに行ってるわけじゃないに。と思う。国や市が助成してくれればいいのに。と思う。支援計画書の内容について、詳しい説明がなく、サインしてるだけ。
- 2 • 訓練の頻度が少ないと感じます。他の療育施設(療育の体操教室など)と併用できないのが残念です。
• プレールームのルールなど統一して欲しいです。外来訓練に限られた回数しかないので、プレールームで自由に遊ばせるばかりでなく、指導に従って決められたことに取り組むこともやって欲しい。(担当の先生によっては、自由にやらせ過ぎている。)
- 3 外来訓練の先生が幼稚園や保育園での様子を直接見に行ったり、担任保育士と面談なども行える仕組みにして欲しいです。担任保育士がきりに期待することと外来訓練の仕組みにズレがあるように思います。お互い保育園ではどうですか？きりにどうですか？と保護者へ質問して、保育園へきりに様子や意見を伝えても保育士が欲しい意見でないと、うーんで終わってしまう。直接園での様子を見ていただけると訓練に活きると思います。

やや不満である★★

- 1 • 子ども自身は楽しく通っていますが、何がどういう意図の訓練なのか、また専門の方から見て本人に変化があるのかわからず、また悩みや心配を相談しにくいのが残念だなと感じています。訓練中だと本人の前では話しにくいことも多々あるので、書面の支援計画だけでなく先生からフィードバックをもらえたり、心理士の方に相談できるような機会が定期的であれば嬉しいです。

2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

大変満足である	13
概ね満足である	17
どちらとも言えない	6
やや不満である	0
不満である	1
特になし	5
未記入	0
合計	42



評価理由

大変満足である★★★★★

- 1 ・直接ご指導くださる先生方、その他の職員の皆様も親切で丁寧なため。
- 2 ・明るくキレイな施設なので、明るい気持ちで通える。初めてでも入りやすい。
- 3 ・特に不満な点はございません。

概ね満足である★★★★★

- 1 ・担当の先生とのやりとりはあり、担当の先生や窓口で関わる先生方はとても良い印象を受けていますが、法人が変わったらどうなるのか。が、わからないため。
担当の先生方が非常勤雇用ということが気になっています。他の事業所や病院と掛け持つために、非常勤雇用が先生方の理想ならいいのですが、子ども達を支えてくださる先生方の生活が安定するようになったらいいな。と、思っています。
- 2 ・特に不満はありません。
- 3 ・しっかり、よりそっていただける方が多い。
- 4 ・通常は先生と一対一のお付き合いなので運営事業者さんのことまでは正直わかりません。

どちらともいえない★★★

- 1 ・他の事業者になったら、どうなるのか分からないから。
- 2 ・担当者の方の都合で事前のスケジュールが2日前、前日等にキャンセルになることが度々あり、仕事の調整が難しかったことがある。体調不良は誰にでも起こりうる事なので、リカバー中の代わりの担当者制度等、あってもよいのかな？と思いました。
- 3 ・運営事業者のことをよく知らないため。

特になし☆

- 1 ・特に詳しく事業者を調べたことはないので、何も分からない
- 2 ・よくわからない。

不満である

- 1 ・なるべく仕事をしないようにしているのが見て取れる。事業として、保育所等訪問支援を掲げておきながら断られた。
また計画相談もただ書類を書く役割の人にしかすぎず、お母様の方が詳しいから！とサービス提供の相談などになってくれない。

3 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

- 1 ・保育園と幼稚園での訪問観察をお願いしたいです。幼稚園ときらりの連携があまり良くなかったので、今後も連携していけたらと思います。
- 2 ・先生からのフィードバックや心理士の方と相談できる機会が定期的であれば嬉しいです(子ども本人がいない場で)。土曜や午後～夕方など、共働きでも通いやすい枠が増えると嬉しいです。
- 3 ・送迎サービス。OT、STなど年間で固定しない。
- 4 ・保育園や幼稚園に理学療法士が行き、30分でもいいので、その場でやってもらえたら助かる。毎日やらないと効果が薄くなる気がする。
- 5 ・未就学児は丁寧に見ていただけている実感はありますが、小学生以降は放課後デイと相談だけかと思っておりますので、小学生への療育が充実して欲しいと思っています。
- 6 ・特になし
- 7 ・集団療育やってもらえると嬉しいです
- 8 ・就学後の相談・フォロー(既にあつたらすみません)
- 9 ・送迎があると大変助かります。
- 10 ・なし。
- 11 ・小学生になっても外来訓練利用できるようにしてほしい。
- 12 ・音楽、英語など取り入れてほしい。タブレットやスマホを使用したもの。
- 13 ・毎月現金支払いは面倒なので、できれば1年分クレジットカード支払い(3月末に欠席分返金)などもう少し楽な方法がほしい
- 14 ・発達障害や特別支援の知識、支援が必要な子供への関わり方など学べる機会があるといいです。
- 15 ・利用者同士の交流

4 その他(自由意見)

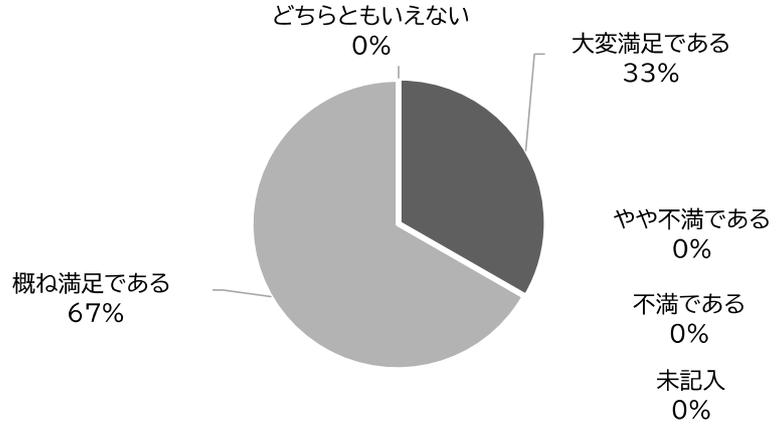
- 1 ・自宅から距離があるので、夏場や雨の日の送迎が大変。武蔵小金井周辺でも療育が受けられるととても助かる。
- 2 ・昨年から初めて利用したので、良し悪しの比較が出来ませんが、担当の先生と子供の関係は大事だなと感じています。療育の方法というのがあるとは思いますが、親としてはいけないことをしたらいけないと注意をきちんとしてほしいと思いました。

- 3 ・いつも利用させていただきありがとうございます。事務所の方々が親切でとても有難く感じています。
- ・いつも親子に寄り添って訓練を進めてくださり、本当に感謝しています。きらりは、毎年たくさんの利用応募があるため抽選となることは致し方ないとは思いますが。
- 4 療育が必要な子供にとって、訓練が途絶えることがどれだけ影響があることか、落選した場合は新たに療育施設を探さなければいけないこと、療育手帳がもらえない子供にとってはそれが思うように進められないことを行政はどれだけ理解しているのでしょうか。
- ・担当者によって対応がまちまち。今年の担当の方は何でも子供の特性に結び付ける傾向が強いが、その分対応のアドバイスをいただける。昨年の担当者は質問しても答えてもらえず、ただ通って作業してという感じになっていた。よく分からない人だった。
- 5
- 6 ・子供の成長にとっても役立っていると思います。親だけでは限界のあるところに、専門的な活動をしていただけていると感じます。
- 7 ・どの先生も、丁寧に見てくださって親子で支えていただいているので、感謝しています。
- ・先生には本当にお世話になり、有り難く思っております。
- 8 来年度、どなたが担当してくださるのか、何曜日の何時になるのか、心配です。また、無理なことは分かっているものの、子供自身が幼稚園を休みたくなかったり、下の子もいるため、土日にも卒を増やしたり、隣の保育園や幼稚園近辺の保育園で下の子を預かるサービスがあれば良いのにと考えたりします。
- ・今年度、個別外来訓練でお世話になっております。子どもは毎月きらりに通うのを楽しみにしています。
- 9 月に一度の僅か1時間という時間の中で、子どもの特性や今後の課題などの確にアドバイスして下さり、親子共に支えとさせていただいています。いつもありがとうございます。
- ・4年間ありがとうございました。田舎から東京に出てきて、孤独で不安な幼児期の子育てでしたが、きらりの方々が手を差し伸べ、一緒に子供をささえ、何とか子供2人を自信を持って、小学校に送り出せました。ありがとうございます。
- 10
- ・外来訓練は、年度初めにきらりの方でどの訓練が合うか決めてもらうが、簡単で良いので説明がほしい。一階の事務室に確認すれば詳細教えてもらえると言われたが、仕事をしていることもありゆっくり確認ができない。また子どもを待たせながら話を聞くのも難しいと思う。
- 11
- 12 ・曜日と時間を選べると嬉しいです(第一希望や第二希望など書く欄がほしいです)
- ・マスクを付けていない職員の方もいますが、以前きらりは高齢者施設と同じ考えのため、マスク着用を続けて下さいと説明を受けました。職員の方で付けていない方は個人の判断で付けていないのでしょうか？
- 13
- ・小学校に進学するに当たって発達検査などを受けたいがそういった情報収集をどのように行うのかがよくわからないので情報提供をいただける機会が欲しい。
- 14
- ・放課後デイサービス(小学生)で、週1回限定でなく長期休み(夏休み・冬休み・春休み)期間中、週5日預け入れが出来るようなサービスがあったらうれしいです。
- 15
- ・親の都合(持病)での欠席や、時間に遅れてしまうことが多々あり大変ご迷惑をおかしました。改めて申し訳ございませんでした。こんな私たちにいつも親切に接して下さって本当にありがたく思います。子どもも月2回のきらりをとても楽しみにしています。残り少ない回数ではありますが、どうぞよろしくお願いします。
- 16
- ・長期休み(夏休み・冬休み)中の預かり、イベント、療育があったらうれしい。放課後デイサービスの送迎があったらうれしい。小学生にも外来訓練のような個別療育をして欲しい。
- 17

親子通園事業

1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

大変満足である	1
概ね満足である	2
どちらともいえない	0
やや不満である	0
不満である	0
未記入	0
合計	3



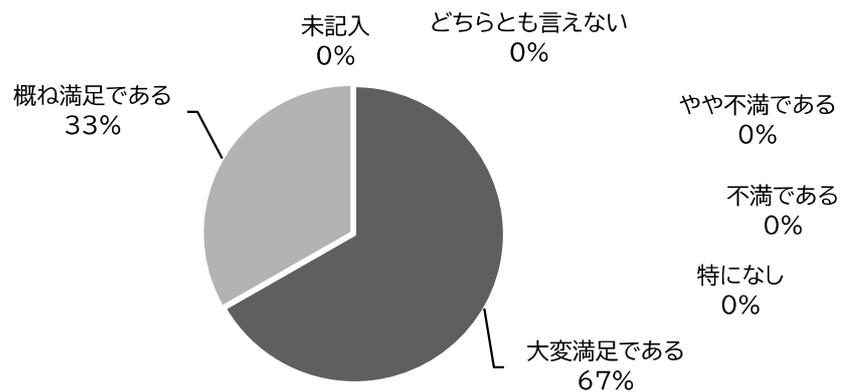
評価理由

概ね満足である★★★★

- 1 ・大人がトイレに行くタイミングがとりにくいと思います。

2 運営事業者についてお聞きます。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

大変満足である	2
概ね満足である	1
どちらとも言えない	0
やや不満である	0
不満である	0
特になし	0
未記入	0
合計	3



3 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

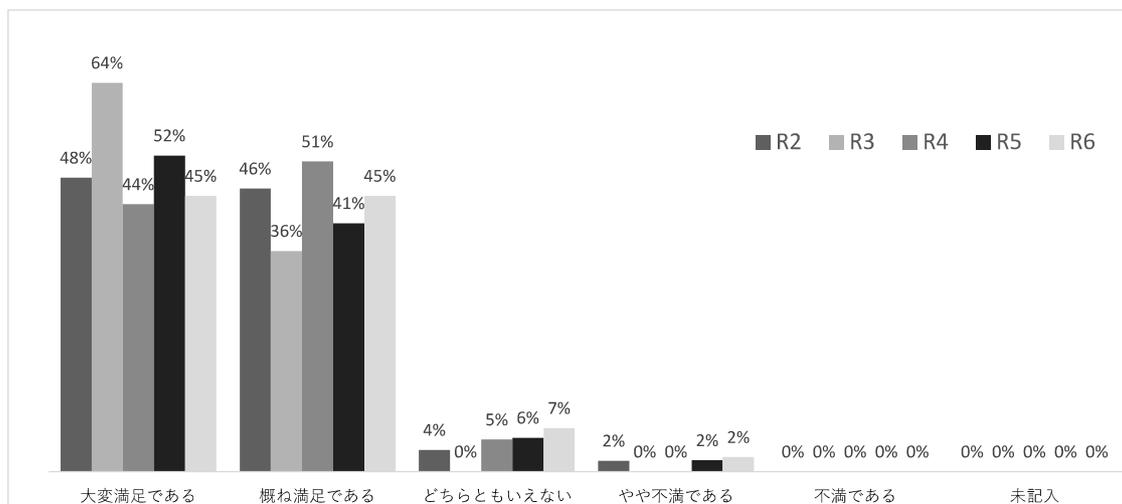
- 1 • 建物がもう少し駅よりになってほしいです。

5 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）経年比較

外来訓練事業

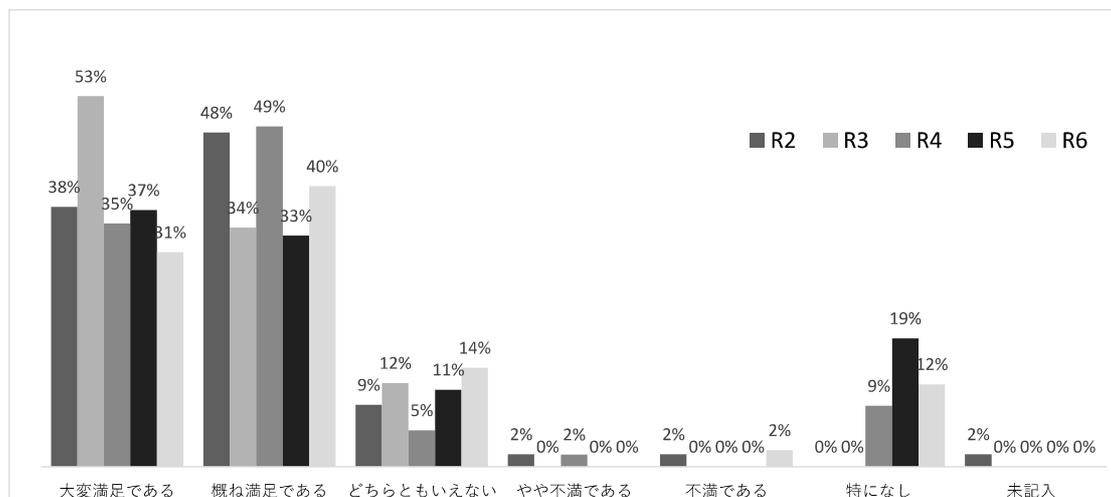
1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未記入	合計
R2	27	26	2	1	0	0	56
R3	37	21	0	0	0	0	58
R4	25	29	3	0	0	0	57
R5	28	22	3	1	0	0	54
R6	19	19	3	1	0	0	42



2 運営事業者についてお聞きます。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

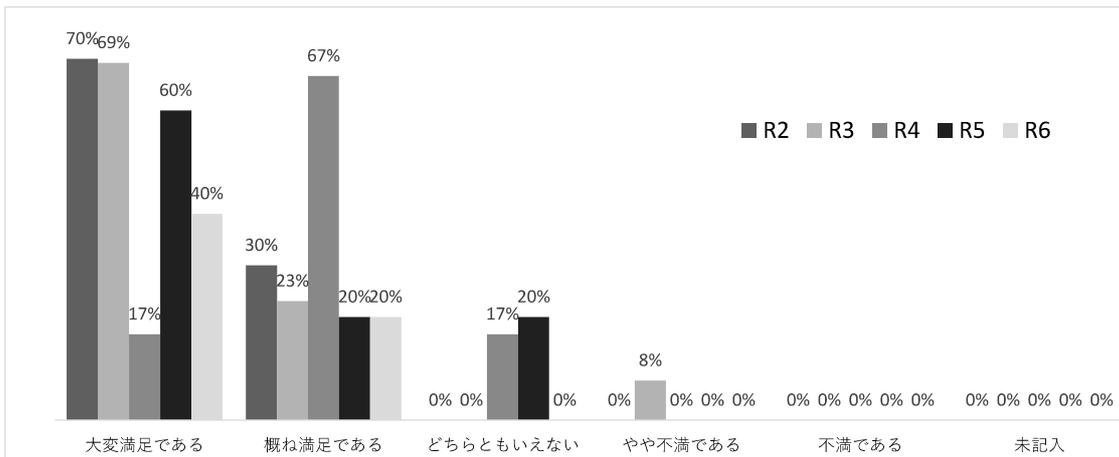
	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	特になし	未記入	合計
R2	21	27	5	1	1	-	1	56
R3	31	20	7	0	0	-	0	58
R4	20	28	3	1	0	5	0	57
R5	20	18	6	0	0	10	0	54
R6	13	17	6	0	1	5	0	42



親子通園事業

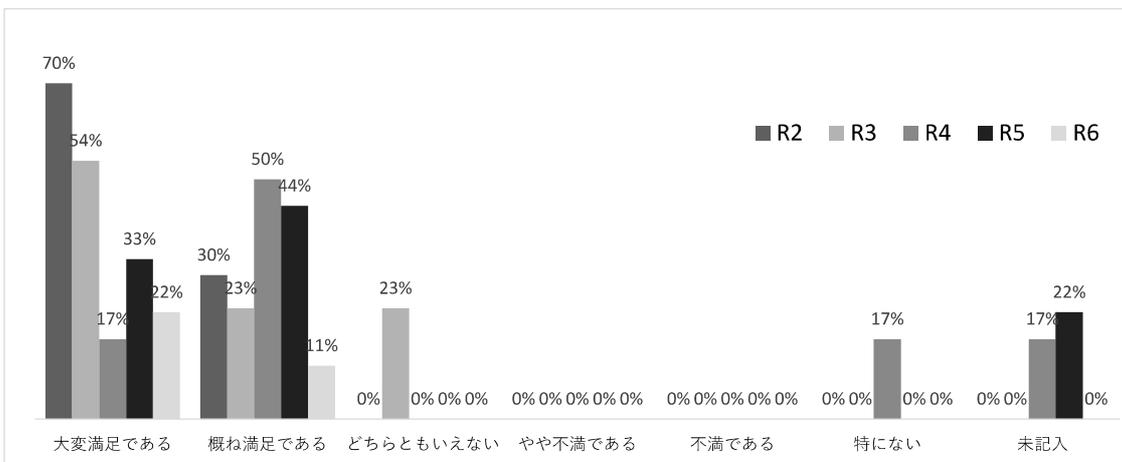
1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	未記入	合計
R2	7	3	0	0	0	0	10
R3	9	3	0	1	0	0	13
R4	1	4	1	0	0	0	6
R5	3	1	1	0	0	0	5
R6	2	1	0	0	0	0	3



2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

	大変満足である	概ね満足である	どちらともいえない	やや不満である	不満である	特にない	未記入	合計
R2	7	3	0	0	0	-	0	10
R3	7	3	3	0	0	-	0	13
R4	1	3	0	0	0	1	1	6
R5	3	4	0	0	0	0	2	9
R6	2	1	0	0	0	0	0	3



6 総括

平成25年10月の開所以来、小金井市児童発達支援センターきらりの運営等に関して、本協議会において確認及び検証を行ってきました。令和6年度は協議会の第6期目（令和6・7年度）として、全4回協議会を開催し、本項はその1年間の総括としてまとめるものです。

提供しているサービス内容の評価について、児童福祉法の法内事業である児童発達支援、放課後等デイサービスでは、東京都福祉サービス第三者評価を運営法人において毎年受審しています（評価結果はWEBサイト「東京都福祉サービス第三者評価【福ナビ】」にて公表されます。）。提供しているサービスの内容については、（東京都福祉サービス第三者評価による評価）及び利用者アンケートの結果からも、概ね高く評価することができます。

法外事業である外来訓練、親子通園では、市が実施する利用者アンケートの結果においても満足度の高い結果が確認できました。自由意見でも保護者やお子さんへ寄り添い相談にのってもらえ、感謝しているといった文言が多く届いています。しかし一方で訓練の内容等について、保護者への説明が十分でない面もあったことが明らかになりました。そういったご意見を受け、より丁寧なコミュニケーションをとっていくことが重要であると考えます。また今年度から連絡アプリを導入し、お子さんの出欠確認や情報共有、保護者との連絡等がスムーズに行われ支援に生かすことができていると考えます。そして市民向けの情報提供として新たに作成したパンフレットはきらりを知らない、利用したことのない方へきらりが行っている事業や利用方法をわかりやすくご案内している内容であると言えます。

施設・設備の維持管理については、運営法人が指定管理者として担っていますが、令和6年度はコドモンアプリ導入に伴い無線アクセスポイントの増設・移設、倉庫給気改善工事、建具等の細かい修繕は行ったものの管理状況は概ね良好でした。しかし、開所より11年が経過し、徐々に施設・設備の経年劣化も見受けられます。将来にわたり子どもの安全性、快適性を十分に保持するためにも、予防保全の視点も重要であると考え、定期点検等の結果を市と運営法人とで共有しながら計画的な維持管理が継続して必要です。

以上の状況を踏まえ、令和6年度のきらりの提供するサービスの総合的な評価は高い水準にあると判断します。これまで以上に子どもたちのために行政、関係諸機関、保護者が連携を図り、支援の充実・向上に努めてまいります。

参考資料

- 小金井市児童発達支援センター運営協議会規則
- 小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
- 令和6年度講演会・研修会開催実績
- 令和6年度利用実績一覧

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

（趣旨）

第1条 この規則は、小金井市児童発達支援センター条例（平成25年条例第19号）第19条の規定及び小金井市と小金井市児童発達支援センターの指定管理者（以下「指定管理者」という。）との間で取り交わす管理に関する基本協定に基づき、小金井市児童発達支援センター（以下「センター」という。）の利用者及び関係者の意見を反映して指定管理者の事業運営の適正化を目的として設置する小金井市児童発達支援センター運営協議会（以下「協議会」という。）に関して、必要な事項を定めるものとする。

（所掌事項）

第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌し課題解決等に向けた方策の提案並びに実施事業の執行状況の検証及び評価（以下この条において「提案等」という。）を行う。

- (1) センターの運営に関すること。
 - (2) センターの管理に関すること。
 - (3) センターの事業執行に関すること。
 - (4) その他センターの事業に関すること。
- 2 協議会は、提案等の結果を速やかに市長に報告するものとする。

（組織）

第3条 協議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) センター利用者の保護者 3人以内
- (2) 市内関係団体代表 4人以内
- (3) 学識経験者 2人以内
- (4) 関係行政機関の職員 3人以内

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第5条 協議会に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の2分の1以上の者の出席がなければ、会議を開催することができない。

3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（意見の聴取）

第7条 協議会は、必要に応じて委員以外の者に対して出席を求め、意見を聴くことができる。

（公開）

第8条 協議会は、公開とする。ただし、公開することが協議会の公正な運営に支障があると認められるときは、出席委員の過半数の議決により、非公開とすることができる。

（庶務）

第9条 協議会の庶務は、福祉保健部自立生活支援課において処理する。

（委任）

第10条 この規則の施行に関して必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この規則は、平成25年10月1日から施行する。

付 則（平成28年3月31日規則第37号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
 (令和6年4月～令和8年3月まで)

氏名	選出区分
岩田 和香	市民公募
森田 たか子	
原 咲舞	
三浦 朋子	市内関係団体
森田 義雄	
渡邊 孝之	
古川 史子	
中島 雄佑	学識経験者
小川 順弘	
佐藤 歩	関係行政機関
黒澤 佳枝	
向井 隆一郎	

※敬称略

令和6年度講演会・研修会開催実績

対象	日程	内容	講師	対象・参加(見込)
一般市民向け講演会	7月5日 ※対面	いらいらしないためのアンガーマネジメント	玉城 久江 さん ・駒木野病院 看護師科長 ・(一社)アガーマネジメント協会認定 アガーマネジメントファシリテーター®	計70名参加 市内在住・在勤・在学
	2月7日～21日 ※オンライン(録画配信)	子どもたちのいろいろな表現 ～乱暴な言葉づかい～	溝口 碧 きらり 臨床心理士	計184名申込 市内在住・在勤・在学
支援者向け研修	7月19日 ※対面	ティーチャーズ・トレーニングを学びましょう ～今すぐ使えるかかわり方のコツ～	藍田 幸子 きらり 臨床心理士	計35名参加 (機関数19ヵ所) 保育園・幼稚園・子ども園等 27名 学校・学童保育・児童館 4名 発達支援・福祉関係機関 3名 その他の関係機関 1名
	9月19日(木) ～9月30日(月) ※オンライン(録画配信)	保健センターの乳幼児健診って どんなことをしているの? ～母子保健事業のしくみ～	笠井 綾子 さん 小金井市子ども家庭センター	保育園・幼稚園・子ども園等 33名 学校・学童保育・児童館 2名 発達支援・福祉関係機関 14名 その他の関係機関 6名
関係機関 きらり保護者向け	8月下旬発行	紙面講座「きらりレポート」 No.12(気持ちや行動・活動の)きらりかえ		きらり利用者 248名 保育園・幼稚園・子ども園等 69ヵ所 学校・学童保育・児童館 32ヵ所 発達支援・福祉関係機関 35ヵ所 その他の関係機関 8ヵ所
	12月下旬発行	No.13 発音の発達を支えるために		きらり利用者 264名 保育園・幼稚園・子ども園等 69ヵ所 学校・学童保育 32ヵ所 発達支援・福祉関係機関 35ヵ所 その他の関係機関 8ヵ所
きらり 保護者向け 学習会	5月10日(金) ※対面	「就学相談・小金井市における 特別支援教育」	小金井市教育委員会 学務課・指導室 都立特別支援学校 特別支援教育コーディネーター	計32名参加 きらり保護者(年少以上)
	10月29日(火) ※対面	保護者座談会 1 「子育ておはなし会」	ファンリテーター きらり 心理士	計6名参加 外来訓練保護者(年少・年中・年長)
	11月6日(水) ～11月29日(金) ※オンライン(録画配信)	医療機関との関わり方	星合 南 きらり 臨床心理士	計45名参加 きらり保護者
	11月26日(火)	食事へ気持ちがかたく工夫 ～わかりやすい環境と工夫で食事の幅を広げよう～	宇佐見 翠 きらり 児童発達支援管理責任者	計19名申込み 児童発達支援(通園)保護者
	11月21日(木) ※対面	保護者座談会 2 「放デイ 座談会」	ファンリテーター きらり 職員	計2名参加 放課後等デイサービス 保護者 (昨年度利用の方にも声かけ)
	前期:4月～7月 後期:9月～11月 ※対面	ペアレントトレーニング(幼児) 6回+フォローアップ1回	きらり 心理士	相談・外来訓練(年中・年長)保護者 前期:4名にて実施 後期:5名にて実施中
	前期:4月～7月 後期:10月～12月 ※対面	ペアレントトレーニング(学齢) 6回+フォローアップ1回	きらり 心理士	相談・放課後等デイサービス 保護者 前期:3名にて実施 後期:4名にて実施中
	5月～7月 ※対面	ペアレントトレーニング(幼児)短縮版 4回+フォローアップ1回	きらり 心理士	相談・外来訓練(年中・年長)保護者 3名にて実施

令和6年度利用実績一覧

令和7年3月31日現在

	令和6年										令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	25件	7件	19件	21件	20件	14件	18件	34件	19件	9件	13件	11件	210件	
②相談支援事業（専門）	67件	92件	97件	114件	116件	116件	145件	119件	116件	147件	128件	131件	1,388件	
③相談支援事業（☎）	73件	83件	101件	103件	92件	78件	100件	104件	82件	73件	77件	82件	1,048件	

	令和6年										令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	21人	-	
⑤放課後等デイサービス	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	-	
⑥保育所等訪問支援事業	1人	2人	4人	4人	4人	4人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	-	
回数	0回	4回	5回	5回	5回	6回	6回	6回	5回	6回	4回	0回	52回	
⑦親子通園事業	19人	20人	21人	21人	23人	25人	25人	30人	33人	33人	33人	33人	-	
回数	5回	9回	5回	8回	8回	11回	11回	11回	12回	12回	11回	7回	110回	
⑧外来訓練事業	146人	149人	152人	154人	154人	156人	157人	160人	160人	160人	160人	160人	-	
回数	302回	283回	330回	282回	289回	321回	299回	301回	306回	348回	278回	298回	3,637回	
⑨巡回相談事業	0回	1回	11回	5回	1回	8回	14回	4回	6回	10回	9回	0回	69回	
その他	研修・講演会等													

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（☎）	相談者、関係機関等との電話での相談。一般相談予約数を含む。専門相談予約数は含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施延べ回数（人数）
⑦親子通園事業	登録者数及びグループの実施回数（1グループ1回とカウント）
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施延べ回数（人数）
⑨巡回相談事業	巡回訪問実施回数（きらきらサポート）、学童巡回相談

小金井市児童発達支援センター きらり

きらきらサポート 2024 報告書





目次

1. きらきらサポート 記録例	2
-----------------	---

2. 各園のまとめと担当心理士よりメッセージ	4
------------------------	---

2024 年度実施園 計 8 園

3. 2024 年度きらきらサポートを終えて	20
------------------------	----

きらきらサポート（きらり巡回相談事業）とは

小金井市児童発達支援センター事業詳細計画に基づき、専門職員（心理士）が園に訪問し、今後の対応等について園の職員の方に療育の視点から支援をします。

この事業は「保育・教育の専門家」（みなさま）と「発達の専門家」（きらり）とが集団生活の課題についてともに考え、協働していく事業です。

きらり心理士が各園を訪問し、前半の時間はお子さんたちの生活・活動の様子を拝見し、後半の時間に先生方と話し合い（カンファレンス）の時間をもちます。

保育園は 9:30～14:00、幼稚園は 10:30～15:00 の時間を標準的な訪問時間に設定しています。最終回は「まとめの会」として、カンファレンスのみの実施です。

報告書作成にあたり

先生方が書いてくださった内容や、きらり心理士のメッセージ等は、紙面構成時に一部改変して各園に確認の上、報告書を作成しました。

モデル (クラス名・イニシャル) :	訪問日: 年 月 日	書類送付締切: 月 日
--------------------	------------	-------------

<要因の整理>・・・カンファレンスにて記入

	困っていること	考えられる要因	具体的な工夫
例1	①友だちとの関わりが激しい 押したり、力いっぱい首に抱き着いたり、 ほほをつねる、など ②だめと言われたことを何度もする ③「どうせできない」とすぐにあきらめる	①②意欲や努力ではなく、脳の機能(多動・衝動)としてとらえる ③注意されることが多くなりがち	①②急激な変化は難しい(脳の成熟・成長)ことを頭に入れて接していく ③自己肯定感を高めていけるよう、注意する時もまず児の理由を聞く
例2	クールダウンエリアに行っている子の姿を見て、「なんで？」と聞いてきたり、エリアを覗きに行くようになった	1人だけ違う行動が許されていると思ったり、うらやましい、ずるいと感じる子もいる	・まわりの子に対し、当たり前と思わず「ありがとう」「がんばっているね」など、認める、ほめる言葉をかける ・まわりの子の甘えを受け止める

2

<次回までの実践>・・・カンファレンス後、次回訪問までに実践して、そのようすを記入 記入日: 月 日

	工夫した内容	結果(子どもの姿)
例1	・急激な変化は難しいと話があったので、何回でも根気強く伝えることを大切にした ・注意する時も、注意だけで終わらず、理由を聞くことを心掛けた(注意の回数が多い場合には、毎回聞くのは難しかった)	「どうせできない」「あーあ怒られる」など、注意を受ける時に口にしている子もいたが、やってしまった理由を聞き、「そっか、じゃあ〇〇したらよかったかもしれないね！」など気持ちを受け止めつつ、どうしたらよかったかを落ち着いて伝え、「そうだね」と返事することもあった。
例2	・まわりの子に対し、当たり前と思わず「ありがとう」「がんばっているね」など、認める、ほめる言葉をかける ・まわりの子の甘えを受け止める	その時にそれぞれの子どもががんばっていることを誉め、他の子のよくない行動を指摘したり、大人に教えに来た時には「教えてくれてありがとう」などまわりの子の思いを受け止めていった。少しずつ「なんで(〇ちゃんだけ)?」が減っていったように思う。

<次回の相談内容> 次回訪問日: 月 日 例3

お気に入りのおもちゃ等に執着していて、給食やトイレにスムーズに行くことが難しい。おもちゃ等をしまっても何とか探してきて、出してほしいと必死に訴える子も。おもちゃの提供と、しまうタイミングについて考えていきたい。

<その他> 例4

・園でのようすを伝えると家でも園と同じような関わり方やサポートをして下さる保護者もいて、「関わることや試すことが楽しくなってきた」という話も聞いた。必要時には連絡帳でのやりとりをこまめにしている。
・就学支援シートを活用している子もいる。

【 A 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・コミュニケーションの取り方
- ・集団生活の流れに沿って活動するための対応

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに寄り添うことを大切にし、少しの時間でもスキンシップや1対1での関わりを持つようにした。 ・活動中は無理のないタイミングで活動の流れにのれるように促した。 ・子どもの興味のある遊びを一緒にやってみたり、触れ合い遊びなどの感覚を共有できる時間を増やした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・喜怒哀楽の感情を表すようになった。 ・担任の顔を覚え、甘えるようになった。 ・保育者の身振りや言葉で伝わり、スムーズに次の活動に参加できることが増えた。大幅に崩れる事なく、流れにのり活動できている。 ・感覚を共有し合う事で、少しずつ笑ったり、周囲の様子を模倣し、嫌な時は声を発して泣いたりする事が増えてきている。

<大切なポイント>

- ・ゆっくりペースなお子さんは、寄り添いながら少しずつできることを増やしてあげることが大切だと感じた。

<園長先生より>

どうしたらいいかわからない。今の援助が適切なのかもわからない。そんな職員の不安に対して、専門的な視点で子どもへの対応を肯定した上で、一緒に検討しました。職員の不安が和らぎこれで良いんだと思え、より子どもと向き合うきっかけを作っていただきました。今度は職員が保護者に同じような気持ちになってもらえるよう伝えていけたらと思います。

<先生方の感想等>

アドバイスして頂いたことを少しずつ実践していくことで、できなかったことができるようになったり、親しみを持って関わってくれるようになり、とても嬉しいです。これからも寄り添う気持ちを大切に、気持ちを共有しながら関わっていきたいと思う。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・待てないことが多い。
- ・友達や保育者とのやりとりが苦手。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none">・（意図をくみとるのが難しいことがあったため）やってほしいことなどをパターンの中に入れ、毎日同じように繰り返す。・ロールプレイをして（見せて）正しいやりとりの仕方を伝える。	<ul style="list-style-type: none">・同じパターンにしていくのが難しい部分もあったが、少しずつ慣れていった。流れが確立し、クラス全体に見通しを持ちやすくなった。・やりとりを練習しておくことで、実際の場面でも使っていた。慣れてくると言い方を変えたりしていた。

<大切なポイント>

- ・分かりやすく伝えることを意識した。繰り返し伝えることで少しずつ身につけている様子が見られた。本人が分かりやすい言葉（伝わりやすい言葉）や視覚で伝えることも行った。
- ・感情の発散ができるようにする。できる限り、本人の気持ちの発散ができるよう、声をかけすぎず見守ったり発散できるような場を作るようにした。

<園長先生より>

今回のきらきらサポートをきっかけに、保育者だけでなく保護者が子どもとの向き合い方を変え、療育の利用を開始した方もいました。欠席も多い中でのきらきらサポートでしたが、様々な整理ができました。

<先生方の感想等>

- ・その都度、その時に困っていることについて、行動の背景や対応の仕方を知ることができ“それぞれの子に合った対応”をすることができた。「この対応でいいのかな？」という不安もなくなり、子どもの成長をより感じるすることができた。
- ・より子どもの気持ちや不安に寄り添い関係性を深められたと思う。

《担当心理士よりメッセージ》

- * “人”への意識やことばの育ちが緩やかなお子さんへの対応について話し合いました。先生方が、集団保育をする中でもすでに“この子の成長のために自分たちに何ができるのか”を考えていらっしゃいました。成長の見通しや個別対応で何を大切にすることを共有しながら、お子さんの成長と一緒に感じるすることができました。
- *すでに丁寧にお子さんを観察されていた先生方でしたので、それぞれの行動の原因の見立て方や対処法などを共有すると、すぐに声掛けの工夫などを集団保育に取り入れてくださいました。結果として集団全体への支援にもつながったと思います。

【 B 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・質問に対しての対応や適切な関わり方について
- ・身の回りのことが1人では難しい。 ・集団での活動への参加の仕方

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none">・生活の流れを視覚的に分かりやすく伝える。・できた時はほめる、認める声かけをする。・目の前のことに注目できるような関わりをする(身体を触るなど)。・気持ちや思いを言葉で伝えられるように援助する。	<ul style="list-style-type: none">・生活の流れが分かり、自らトイレに行ったり着替えようとしたりする。・かんしゃくを起こすことが少なくなり、自分でやろうとすることが増えた。・また、周りに気を取られずに自分で目の前のことをしようとする姿が増えた。・自分で助けを求められるようになった。

<大切なポイント>

- ・視覚的な関わりや触覚的な関わりをする。
- ・気持ちを受けとめながら、流れやルールなど決まっていることをくり返し伝える。
- ・できたことはたくさんほめる、認める関わりをする。

<園長先生より>

個の対応や、日々の積み重ねの大切さを再確認できました。園長としても担任の日々の取り組みや悩み、迷いに寄り添いながら努力し、園全体で1人ひとりの子が持って生まれた力を見つけ出して認めてあげられる保育をできる体制づくりをしていきたいと思えます。

<先生方の感想等>

配慮が必要な子どもへの関わりに悩んでいました。実践していくうちに成長を感じることができ、子どもにとっても保育者にとっても良い機会を頂けたと感じます。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・注目行動や衝動性がある。 ・集団での活動への参加の仕方

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での集団を作ったり、話を聞く時間を短く設定する。 ・不適切なことはスルーし良い所に注目して関わる。 ・保育者の対応を統一し1対1での関わりを増やした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を集中して座って聞ける時間が増えた。また、朝の会に最後まで参加することができるようになった。 ・暴言が減り自信がついた。意欲的になった。 ・人を選ぶことが少なくなった。どの保育者とも関係ができてきている。

<大切なポイント>

- ・プラスの言葉かけをしたり良い所に注目したりする。
- ・少人数や刺激の少ない環境にする。
- ・保育者の対応を統一する。

<園長先生より>

改めて個人の良いところを伸ばしてあげ、認めることや自信につなげていってあげられる保育が大切だということを感じました。悩みも多かったと思いますが、対応の仕方、環境設定など工夫したことで、担任も自信を持って対応することができたと思います。

<先生方の感想等>

子どもに対しての言葉かけや関わり方に悩むことが多くありましたが、困っていることや考えられる要因などひとつずつ丁寧に考えていくことで糸口が見え、悩むことが少なくなりました。今後も振り返ることや要因を考える時間を大切にしていきたいと思います。

《担当心理士よりメッセージ》

*不適切な行動に対して、行動をそのまま受け取らず、その背後にあるお子さんの思いを推測して対応していくことの大切さを改めて感じました。お子さんの素敵ところに注目して直接あるいは間接的に褒めることで安心感につなげたり、肯定的な言葉で大人が応じたり前向きな言葉をかけるといった対応を先生方は丁寧に実践してくださっていました。

*マイペースさや注意のそれやすさから集団の流れに乗りにくいお子さんについて、言葉による説得よりも、目で見てわかるスケジュールによって行動しやすくなりました。途中で注意がそれた時も、今してほしいことを淡々と伝えたり、取り組みを具体的にサポートするなど、再び注意を向けやすくなる関わりをしておられました。

【 C 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・言葉が広がりにくい。
- ・注意散漫
- ・行動が激しい。
- ・午睡時すぐ起きる。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・何か話したい時は、まず子どもの動きを落ち着かせ、目を見てしっかりと伝える。 ・子どもの思いを受け止めつつ、危ない事はしっかりと伝える。子どもと一緒にどうすればいいか話し合う。 ・遊びのコーナーの整理。 ・切り替え時は、前もって声をかけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来た時にほめることにより、子どもが気をつけようとする姿が増えた。 ・ことばも成長し、よく聞いて動けることがふえた。 ・保育者の問いかけに対して、理由を説明でき、主張できるようになってきた。 ・机上での活動ができ、集中力も上がった。ごっこ遊びでは真似だけではなく、自分でも展開できるようになった。

<大切なポイント>

- ・一対一で伝えていく(子どもの性格に合わせて尊重)
- ・なるべく否定的な言葉を使わないようにしてきた。
- ・子どもの行動特徴を捉えての指導
- ・理解力に合わせた対応。

<先生方の感想等>

当初は関わりの中で少し不安な部分もあったが、きらきらサポートを通して、実践することで子どもの姿や行動が変わり、成長していく姿を見ることができてよかった。又、環境を変えていくことの大切さを学び、子どもたちと一緒に学び成長することができた。まだ心配なところもあるが、引き続き良い方向へ行くようサポートしていきたい。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・一人で遊べない。
- ・グループ活動に関心が低い。
- ・集団になるとやりとりが難しい。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数/人手のあるときは個別に側で遊ぶ。 ・ 個別に関わって発信を助ける。 ・ 集会で呼名の前に注意を引く声かけをした。 ・ 一人遊びしているときにグループで遊んでいる子の中に誘う。 ・ 年上の子に本を読んでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育者が側についていると遊べるが、一人で遊ぶことはできない子や、グループ活動が難しい子どももいる。 ・ 呼名への意識は高まった。 ・ 自分がわかる遊びなら入るが、保育者が抜けると友だちと遊ばなくなる。 ・ 年上の子が好きな本を読んでもくれる時は最後まで聞ける。次の本を持ってくる。

<大切なポイント>

- ・ 興味に合う遊び
- ・ 個別に対応していく。

<先生方の感想等>

子どもと実際に関わった上で、どのように対応・関わりを持ったら良いか、具体的に教えて頂き、とてもありがたいと思いました。

テーマ1・テーマ2 園長先生より

はじめは、どのように接することがそれぞれの子どもにとってよいか探っていましたが、そのひとつひとつを具体的に示してもらい、保育士が自律していったと感じます。集団活動への適応において、専門的な知識を共有していただき、それぞれの子どもを理解・尊重しつつ「ポイント」を気にとめ、今後も向き合っていきたいと思います。

《担当心理士よりメッセージ》

- * エネルギッシュで動きの激しいお子さんについて話し合いました。目に入る刺激の整理をする目的でおもちゃコーナーを工夫したり、子どものわかる言葉で「やっていいこと・いけないこと」「どうすればいいのか」を丁寧に伝えておられました。はっと気づいてブレーキをかけたり、気持ちを切り替えたりすることが増え、成長の大きな一年でした。
- * 「自主性」を尊重すること、「やることがわかっていてやらないのか」「わからないからやっていないのか」見極めることの大切さを話し合いました。子どもにとって内容が難しい朝の集会では、先生が隣について解説をしたり、順番がくるタイミングを合図してあげたり個別対応を続け、部分的に意識を向けられる場面が増えました。インクルーシブ保育では必要な見極めと援助だと思えます。

【 D 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・生活する中で気持ちの切り替えやクラスの声掛けで理解することが苦手である。
- ・他の子が嫌がることをしつこくする。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none">・ちょっかいを出す原因を考える。・製作前に全体の説明をしたあとに個人的に同じ説明をしたり、目の前で見本を見せ、すぐに同じことをしてもらう。周りの子どもがどのように進めているのか気づけるように声を掛ける。・出来たことを細かく褒める。・午睡中、手に何かを持って他児へのちょっかいを減らす。	<ul style="list-style-type: none">・午睡で寝ることが出来ず、手持ち無沙汰になりちょっかいを出す。他児へのちょっかいは減ったが、タオルを噛んだりするようすが見られる。・製作中、手を止めていたが、保育者が個人的についたり説明すると製作中に泣いたりすることがなく、スムーズに取り組むことが出来ていた。

<大切なポイント>

- ・子どもの視点に立ち、なぜ午睡中タオルを噛んだり、他児へのちょっかいを出すのかということを考えて、そうならない環境を作る。
- ・製作など子どもが自信を持って、堂々としていられるよう出来たことなど細かく褒める。

<園長先生より>

子どもの関わりは、即効性がありすぐに効果が出る物では無い事の再確認と、関わり方に対し、試行錯誤しながら進めて行くのを園全体に周知を行いサポートして行こうと思います。

<先生方の感想等>

実践の中では、子どもにとって良い方向になったこともあれば結果が中々出なかったり、一時的にしか結果が出なかったこともありました。この半年間は自分にとっても子どもにとっても意味のある時間でした。今後も試行錯誤しながら関わっていきたいと思います。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・勝ち負けへのこだわり
- ・不注意が多い、忘れっぽい
- ・気持ちの切り替えに時間が掛かる。
- ・体が勝手に動いてしまう。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<p>◎事前に子どもと保育者との間で決めごとを作り、その都度確認する。</p> <p>◎勝ち負けもある事を伝え、見通しを立ててもらう。</p> <p>◎園での環境の変化(1月の部屋の入替)を利用し、落ち着いて過ごせるよう配慮。</p> <p>◎不注意や落とし物に対して、物を置く場所を決める(トレーを置いた)</p>	<p>◎その時の気持ちにもよるが、負けを受入れられることが増えルールに沿わない行動が減った。</p> <p>◎気持ちが落ち着きかんしゃくが減る。</p> <p>・同年齢の友だちをごまかすことが難しいため、自然と諦めがつき対等なやりとりへと変化。少し考え方が柔軟になった。</p> <p>◎置く場所が身につき、トレーが無くても落とす回数が少なくなった。反面、そこに意識が向いて、椅子をガタガタしてしまうことが多くなった。</p>

<大切なポイント>

- ・子どもが納得して約束事を受け入れられるよう、ペースを合わせながら話をする。
- ・本人も止められない動きは大目に見ながら受け入れる。約束と受け入れるラインをはっきりと線引きをして、子どもにもしっかり意識させる。

<園長先生より>

特性を持つ子どもへの接し方で、子どもの苦しさと共に1番関わりを多く持つ事になる担当の悩みや苦しさは少しずつでも解かれて行く事で、保育そのものの歯車が上手く回り出したのではないかと思います。保育の質の向上にもつながって行く事と思います。

<先生方の感想等>

実際に結果として表れているのを嬉しく思います。担任として子どもへの接し方も言い聞かせから、受け入れていく方向となり、お互い苦しかったものが少しずつ解かれていきました。集団保育の難しさも多くありますが、今後も保育がより良くなるよう勉強していきます。

《担当心理士よりメッセージ》

*勝ちたい気持ちの強さから、衝動的に行動したり、お友達とトラブルになる場面について考えました。言い聞かせて行動を修正するだけではなく、その行動の背景にある子どもの認知の特徴に合わせて環境を整えたりルールの見直しをする等、工夫されていました。衝動的な行動の背景を考えることの大切さを改めて実感した事例でした。

*製作活動など、得意な子と苦手な子とで差が出やすい活動について考えました。「自分で出来る」ことを目標に、見守る姿勢を大切にして活動を進めていらっしゃるいましたが、集団での繰り返しの経験だけでは難しいお子さんもいました。支援を受けて小さな「出来た」が積み重なるよう、試行錯誤しながら全体の課題設定も含めて検討しておられました。

【 E 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・集団活動（朝の会など）の不参加、順番を守れない、手が出る。
- ・気づけないことがある（やることを忘れる）、勝手に廊下に出る。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・一日の流れを見える化（イラストの掲示） ・朝の会で机をなくして椅子の向きを工夫した。 ・物を使う時の約束事を改めて全体周知した。（ぬいぐるみ子どもに見立て、その他の玩具を使っておもちゃの使い方や管理方法を指導した） ・褒めることを意識した。一日を通して頑張りが多く見られたらシール帳に特別なシールを貼った。 ・朝の活動内容を変えた（好きな楽曲を取り入れた） 	<ul style="list-style-type: none"> ・注目するようになった。 ・座ってこちらを向くようになった。 ・見通しが持てるようになった。 ・トラブル時、手を出すことは無くなり、保育者に伝えるようになった。 ・身の回りのことを自分で進んでやるようになった。 ・気持ちが落ち着き、保育者の話を素直に聞くようになった。

<大切なポイント>

- ・一対一による丁寧な説明
- ・見える化、予告→できたら褒める。
↳分かりやすく

<園長先生より>

集団行動の中で自分のペースで行動してしまう子どもに対して、ほめる、見通しを持たせる等の関わり方の大切さを教えてもらい、職員が意識を持つ事で成長につながりました。

<先生方の感想等>

子どもにとって目からの情報は大きいものであると実感しました。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・集団行動でのスピードが遅い、注意を受けても響かない、手が出る。
→（身支度は、そもそも自分でやらない）

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会で机をなくして、椅子をこちら側に向くよう配置した。 ・一日の流れの見える化（イラスト掲示） ・早く席に着いた子が待てるよう音楽を流した。 ・4～5歳とやることに差をつけた（当番内容） ・一日を通して頑張りが見られたら、シール帳に特別なシールを貼った。 ・トラブル時、注意をするのではなく理由を聞く。 ・手を繋ぐ相手を決めておく。 ・細かめに予告をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身支度を自分でやれるようになった。 ・一日の流れが身についた。 ・トラブル時、理由を聞くと、言葉で説明できるようになった。 ・まだ手が出る。

<大切なポイント>

- ・褒めた。シール帳に特別なシールを貼った。
- ・4～5歳児とやることや行動のタイミングを分けた。
- ・やることを分かりやすく、細かめな予告。

<園長先生より>

異年齢合同クラスで、低年齢児がクラスとして落ち着きがなかったが、子どもに分かりやすい方法を工夫し実践する等、保育を見直す事ができました。

<先生方の感想等>

子どもにとって、目から情報は大きいものであると実感しました。

《担当心理士よりメッセージ》

*3～5歳合同クラスで、色々な発達段階の子ども達が一斉に活動することにより、3歳児を急かしたり注意することが増え、自分で取り組む力に繋がりにくくなっていました。他学年と活動内容・タイミングを分けることで時間に余裕を持たせ、やることを具体的に提示し、わかりやすく褒めるという関わりを丁寧に重ね、徐々に指示を聞いて自分で動けることが増えました。発達に合わせた設定と、認めてもらうことの大切さを感じた事例でした。

*注意が散りやすく、行動が逸れやすいお子さんに対しては、注目しやすい環境調整とともに、一日の流れやルールを視覚化し、理解や気づきを支え、褒めることを大切に関わってこられました。認めてもらう機会が増え、先生方との関係や情緒面でも大きな変化が見られた一方、色々な工夫はクラス全体のわかりやすさ、取り組みやすさにつながりました。

【 F 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・集団に入れない。 ・外に行く時靴を履かないなど身支度がなかなかできない。
- ・じっと話を聞かない。 ・友達とのコミュニケーションが苦手。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none">・個別の声かけ、今やることを伝える。・スタートの援助、合流を助ける。・“短い言葉”で“切り替え”を助ける。・合流を優先し、身支度を保育士が行う。・“入れて”だよ”など友達とかかわる言葉を伝える。	<ul style="list-style-type: none">・静かにしているが聞いてはいない（予定など）・合流すれば何となく周りを見て行うこともあった。友達からの援助やかかわりで合流できる。・自分で靴、靴下を履きたい気持ちが出てきているがムラがある。・「入れて」はまだ言えないが、友達と同じテーブルで遊ぶなど接点ができることがある。

<大切なポイント>

- ・継続して個別の声かけを行う。
- ・見なりの参加ができることを援助する。

<園長先生より>

個々を見つめ、対応することの大切さ、個人のいい所を伸ばし、認める、自信につなげていけるよう保育をしていこうと実感しました。ありがとうございました。

<先生方の感想等>

活動に合流するために個別の声かけと援助は必要ですが、子どものペースで活動への参加ができ、友達とのかかわりが少しずつ見られてきました。カンファレンスを引き続き行い、見守っていきたいと思います。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・集団の中で個別に配慮が必要な児が多い。
- ・排泄・食事

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ編成の変化に対して、保育者になるべく近くで対応、気持ちの代弁、仲介するなど愛着形成を心掛けた。↓ ・他児への関心がでてきた分トラブルも（言い方、手が出る）。 ・姿勢の維持（イスの使用）、アイコンタクトをまめに行う、中心に座らせるなど。 ・排泄面（年末年始の家庭取組みを助言） ・食事面（食事場面での見守り方を保育者間で共有して声をかけている） 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋以降、保育者との関係性ができると保育者の言い方に慣れ、言葉で動けることが増えた。個別対応は引き続き必要。 ・イスは必要なくなる児が出てきた。言葉の指示への注目力が向上した。 ・それぞれの段階で排泄の進歩がみられた。 ・変化が少ない面もある（理解力、発達の成長を待ちながら）。

<大切なポイント>

- ・発達段階に合わせた遊び方や物の扱い方を尊重する。成長のペースの違いに気が付けた。
- ・幼児への移行の年齢だが、まだまだ個人差が大きい年齢であることを理解する
- ・言葉で表現し始める年齢

<園長先生より>

個の対応の大切さ、すべての子どもが充実した活動を行えるよう日々積み重ねていきたいと思えます。

<先生方の感想等>

成長、発達のスピードがゆっくりな子どもたちの関わりにおいては、焦らずに進めていくことが肝要である。同時に、子どもたち一人ひとりの成長のサインを見逃さないように、引き続き工夫を続けながら丁寧に関わっていきたくと改めて感じた。

《担当心理士よりメッセージ》

- * 身辺自立の段階の差が大きく、同年齢の活動に出遅れてしまう子どもに対して、どう指導していくかを話し合いました。先生は、技術（スキル）を丁寧に教える時と、援助をどんどんして活動に最初から合流することを優先する時と、どちらの対応をすべきか、意図的、計画的に実践しておられました。一年でどちらの面にも成長が見られました。
- * 発達の途上にあり、個人差が大きい低年齢のクラスでは、それぞれの発達段階に合わせた目標や接し方が大切です。先生は、読み聞かせ場面では「担任との信頼関係を作る」「集中できる姿勢の援助」「注目し続けられる工夫」など、子どもに合わせてどこに重点をおいてサポートするかを、とても具体的に実践しておられました。

【 G 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・声かけや対応の仕方

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・一斉活動で声掛けが届いていない時や、朝の支度に時間がかかる時→次に楽しい事がある、わくわくする声かけをした。 ・本人が納得するまで待つ。 ・絵本の独占→友だちと一緒に読むことを伝えたり、「ここを読むまでまって」などと具体的に伝えた。 ・目標を視覚的にわかる様に掲示。 	<ul style="list-style-type: none"> ・にこやかに朝の支度をしてできたことを担任に伝えて来る。周囲からの印象も変化。 ・勝手に自分のペースで読み進めてしまう。 ・周囲と関わりながら、一緒に絵本を読むことができた。 ・イメージがつきやすく、こだわりが減った。

<大切なポイント>

- ・ほめてもらうことで行動を自分なりに変えていこうという意欲になった。
- ・今できることを認め、多くを求めすぎない(状況による)。
みんなと同じことではなく、個としてできることを大切にスモールステップで進める。

<園長先生より>

担任の意識が子どもの出来る事に向いていく様子が伺えました。子どもも認められることで園が安心して生活できる場になっているように思います。

<先生方の感想等>

集団の中にいると個を認めることを理解していても、なかなか実行するのは難しく思っていた。スモールステップで関わると、それぞれの子どもがよく見えるようになり自分の気持ちもやわらいた。自分の変化が大きかったので保育も変わった様に思う。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・切りかえ時に声かけや促しが必要。
- ・相手の思いを考える、解決する場面。
- ・その場の状況や空気を読むことが難しい。
- ・細かい動作や指先を動かすこと、体幹の弱さ。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的に見せたが嫌がる様子が見られたため、早めの声かけや些細なことでも言葉にしてほめた。 ・気持ちを受入れつつ、早めに行動に移せるよう保育者同士でも協力して促した。 ・状況の理解や相手の気持ちに気がつけるよう繰り返し伝えていく。 ・家庭に話を続けていく中で、保護者の意識が変わった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きなことばや喜ぶ表情が見られるようになった。 ・友だちの声かけが入ることで自ら動くようになった。 ・納得できることもあれば、思いを押し通そうとする時もあり、トラブル時は仲立ちが必要。 ・体幹をきたえるため習いごとを始めたたり、他機関との情報共有などに前向きになった。生活習慣が変わった。

<大切なポイント>

- ・気持ちを受入れつつ早めの声かけで促す(事前の約束を丁寧に行う、細かく言いすぎない)。
- ・些細なことでもすぐほめる(クラスの子どもたちもほめてくれることが増えた)。

<園長先生より>

自園で取り組んでいる対応に不安がありましたが、きらきらサポートを受け相談できることで不安が和らぎ支援に取り組むことができました。色々な問題が回を追う毎に解決していき子どもの成長が感じられました。

<先生方の感想等>

生活の中で流してしまいそうになる行動も一つ一つ声をかけ、丁寧に対応することができた。保育者だけではなく友達の協力も子どもにとって前向きに取り組むことができたように感じる。今回の取り組みで困っていることに対しての要因や工夫を考え、振り返ることで子どもの姿がより見えやすくなった。また、ほめることの大切さを改めて感じた。

《担当心理士よりメッセージ》

- *一斉指示に注意を向けることが難しく、自分が気になったものに衝動的に反応してしまうようすについて取り組みました。注意されずたくさんほめられたことでかんしゃくを起こさず活動参加でき、周りの子どもたちにもプラスの変化がありました。子どもの状態にあわせてハードルを下げてかかわることの大切さを実感されていました。
- *注意散漫や不器用さなどから、集団行動で活動が遅くなることへの対応について考えました。遠くからの声かけには気づかないため、先生はそばまで行って顔を見て声かけを行う工夫をしました。手伝われることを嫌がりますが、子どもと事前に手伝うタイミングを話し合うことで対応できました。細かな工夫とほめる対応により、お子さんからは喜んでい表情や言葉が見られ、クラスの子どもたちも温かい声をかけるようになりました。

【 H 園 】

テーマ1

<最初に困っていたこと>

- ・1番へのこだわりが強い。　・言葉があまり出ず、手が出たり大きな声を出したりする。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none">・一番へのこだわりが強いいため、保育者と一緒に列の「後ろ」の経験をする・散歩中の役割を作る・思い通りにいかず大きい声を出す時には、気持ちに寄りそって代弁をし、代替案を伝える。“「できない」「手伝って」と言って”と伝える。	<ul style="list-style-type: none">・保育者と一緒なら、後ろに並ぶことができることもあるが、先頭でないと怒ることもある。・道案内は難しかった。後ろから見守る役割は嬉しそうにする姿もあった。・代替案を受け入れられることも増えている。

<大切なポイント>

- ・気持ちに寄りそい、代弁をする。
- ・気持ちに寄りそい、代替案を提案する。

<園長先生より>

大きな声や手が出る場所から話題にさせていただきましたが、当初に比べて受け入れられることやできることも増えてきており、個々の気持ちに寄り添うことの大切さ、それをくり返していくことの大切さに気付けたことはよかったですと思います。

<先生方の感想等>

促しがうまくいく時と、気持ちがなかなか落ち着かない時との差が大きかったが、まずは子どもの気持ちに寄りそうことが大切だと改めて感じた。また、結果がすぐに出ないことも、根気強く伝え続けることの大変さと大切さを感じた。出来るようになってきたことにも注目しつつ、引き続き対応を考えていきたい。

テーマ2

<最初に困っていたこと>

- ・様子を気にかけたり援助が必要な子どもが複数名いるため、保育の仕方が難しい。
- ・保育者の声かけが耳に入らない子どもが多い。

<きらきらサポートでの実践>

工夫したこと	結果（子ども・クラスの姿）
<ul style="list-style-type: none"> ・イラスト等の視覚教材を多く使用して、約束ごとや今することを伝えた。 ・良いことをしている時に、周りから注目されるようお手伝いを設定するようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水遊びや野菜の水やり、絵本を選ぶお当番等、約束ごとを理解したり、自分の番を楽しみにする様子があった。2月後半になると、1日の流れの表示を見て、次の活動を考える子どももいた。 ・褒められることが嬉しいようで、椅子を運んだり、上着のカゴを持ってくるのを進んでする子どもが多くいた。

<大切なポイント>

- ・良い行動をした時に、すぐに褒める。
- ・子どもの理解力に合わせた言葉かけ、活動に興味を持てるような声かけになるよう工夫する。

<園長先生より>

援助の必要な子ども達が数名いることで、どう個別にわかりやすく伝えられるか悩む担当でした。きらきらサポートを通して、工夫したり継続的に援助が必要だと気づいたようです。担当はクラスの成長に気づきにくいですが、小さな成長も認めていけるとよいです。

<先生方の感想等>

イラスト等、視覚教材を用いた伝え方は、約束ごとだけでなく劇の導入にも使うことができた。どれも継続した援助が必要だと感じたので、少しずつ成長していけるように引き続き促していきたい。その子どもに合わせた個別の声かけ、伝え方の工夫の大切さを改めて感じた。

《担当心理士よりメッセージ》

*配慮が必要なお子さんが複数いるクラスでの対応について話し合いました。視覚的な工夫や、注目を引きやすい手遊び、余計な刺激物を減らすなど、集団の中で取り入れやすい工夫を行っておられました。それぞれのお子さんに合わせたかわり方を行うことで指示に応じることができるようになり、集団行動ができるようになっていました。

*先生がお子さんの気持ちに寄り添って、些細な事でもほめ、子どもの気持ちを代弁して関わったことで、落ち着いて話を聞ける時が増え、先生の提案を受け入れられるように変化しました。興味のあるおもちゃや、教材を提示するなど視覚的な手がかりを用いることもお子さんにとってわかりやすく、気持ちの切り替えができるようになりました。

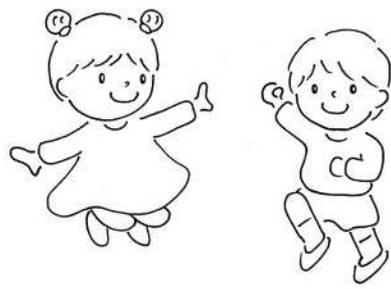
3. 2024年度のきらきらサポートを終えて

- ◆実際に訪問すると、それぞれのお子さんに必要なサポートを先生方がすでに実践されている場面もよくありました。お子さんに合わせた関わりがいつでもうまくいくわけでもありませんし、日々成長しているお子さんに適した関わり方も変化していきます。きらりの心理士は、よりよい関わりのお伝えするというよりは、「発達」の視点で先生方と話し合い、なぜ先生方の関わりがうまくいっているか等の説明を担いました。
- ◆きらきらサポート実施にあたり、実際に訪問するのは心理士ですが、訪問開始前に説明や必要書類一式のお渡しのための事前訪問を行ったり、訪問1週間前までにいただく書類を受け取れているかの確認等を行う職員もいます。きらきらサポートについての様々な業務を行う職員も増えました。事業の流れ等がある程度形になってきたきらきらサポートですが、これまであまり関わってこなかった職員の視点も大事にして、よりわかりやすく充実した事業へとブラッシュアップを続けていきます。
- ◆きらきらサポートの書類の書き方や訪問の流れをより詳しく検討してから応募なさりたいと事前にご連絡をいただいたことがありました。前年度中にきらりより園を訪問し、先生方に行っていただく内容・分量等を含めてご説明しました。応募書類を送付する時期となり、実際にお申込みいただきました。これはほんの一例かと思いますが、園内でていねいに検討をした上でお申込みいただいていることがよく伝わったエピソードでした。ありがとうございます。

2025年4月発行

きらきらサポート 2024 報告書

小金井市児童発達支援センターきらり
〒184-0002 小金井市梶野町1-2-3
電話 0422-60-1550
FAX 0422-60-1564



令和 7（2025）年度巡回相談事業について

1. 市内学童保育所

- ◆市の巡回事業をきらりが引き継いで実施（平成 27 年度～）
- ◆4 月に学童保育所担当者の方と全体を日程調整
- ◆公設の全施設（10 か所）へ年 3 回ずつきらり心理士が訪問
- ◆全体研修（年 1 回）の講師をきらり心理士が担当

2. 市内認可保育所・幼稚園・認定こども園（きらきらサポート）

- ◆試行期間を含め、令和元年度から実施

- ◆1 園につき 5 回（まとめの会を含む）の訪問、8 園を予定
（応募数：令和元年度 15 園、令和 2 年度 11 園、令和 3 年度 10 園、
令和 4 年度 11 園、令和 5 年度 11 園、令和 6 年度 10 園）

- ◆令和 7（2025）年度の予定
 - ① 4 月に市内認可保育所（公立を除く）、幼稚園、子ども園（47 園）へ以下の書類を送付
 - 「きらきらサポート 2024 報告書」
 - 「きらきらサポート（きらり巡回相談事業）募集要項 2025」
 - 「きらきらサポート申込書」
 - ・質問は電話にて受け付け
 - ・申込は FAX にて受け付け 5 月 7 日〆切

 - ② 5 月上旬～中旬までに実施園決定、通知
応募園多数の場合は、過去に実施していない園を優先

 - ③ 5 月中旬～下旬に説明・打合せ（配慮点等）
事前書類の提出を依頼

 - ④ 6 月上旬～7 月上旬より訪問を開始

 - ⑤ 1 月～2 月中旬までに訪問最終回（まとめの会）

 - ⑥ 訪問最終回（まとめの会）終了後、報告書案を各園で作成・提出

 - ⑦ 報告書を作成し、次年度募集要項とともに配布

令和 7(2025)年度講演会・研修会 開催予定・実施状況

- ◆内容により、「対面」と「オンライン」の利点を生かしながら実施。
- ◆昨年度定員を超えてご参加いただけなかった方がいた研修(支援者研修)を同等の内容で実施。
- ◆土曜日のペアレントトレーニング(短縮版)について、年齢の設定を学齢・幼児に分けず、比較的希望の多い「年中・年長・小学1年・小学2年」で設定。
- ◆外来訓練対象の保護者座談会の実施時間を午後に設定。
- ◆所要時間が短い研修が好評のため、内容を精査し、可能な場合には短めの設定で準備。

令和 7(2025)年 5 月 14 日現在

対象	日程	内容	講師	対象等
一般市民向け 講演会	未定			市内在住・在勤・在学 計 *名 申込/参加
	12月～2月頃 ※オンライン(録画配信)	仮)生活の中での身体の育ち	大淀 章子 きらり 作業療法士	市内在住・在勤・在学 計 *名 申込/参加
支援者向け 研修	7月11日(金) ※対面	ティーチャーズ・トレーニングを学びましょう ～今すぐ使えるかかわり方のコツ～	藍田 幸子 きらり 心理士	計 *名 申込/参加 (機関数*所) 保育園・幼稚園・子ども園等 *名 学校・学童保育・児童館 *名 発達支援・福祉関係機関 *名 その他の関係機関 *名
	調整中			計 *名 申込/参加 保育園・幼稚園・子ども園等 *名 学校・学童保育・児童館 *名 発達支援・福祉関係機関 *名 その他の関係機関 *名
関係機関 きらり保護者 向け	6月上旬発行予定	紙面講座「きらきらレポート」 No.14 はさみ	配布	きらり利用者 *名 保育園・幼稚園・子ども園等 *カ所 学校、学童保育・児童館 *カ所 発達支援・福祉関係機関 *カ所 その他の関係機関 *カ所
	未定	紙面講座「きらきらレポート」 No.15 未定		

きらり 保護者向け 学習会	5月8日(木) ※対面	「就学相談・小金井市における 特別支援教育」	小金井市教育委員会 学務課・指導室 都立特別支援学校 特別支援教育コーディネーター	きらり利用保護者(年少以上) 計 39名 参加
	1月頃 ※オンライン(録画配信)	仮)発達相談・発達支援	岡野 典子 きらり 心理士	きらり利用保護者 計 *名 参加
	10月14日(火)午後 ※対面	保護者座談会 1 「子育ておはなし会」	ファシリテーター きらり 心理士	外来訓練保護者(年少・年中・年長) 計 *名 申込/参加
	10月2日(木)午前 ※対面	保護者座談会 2 「放デイ 座談会」	ファシリテーター きらり 職員	放課後等デイサービス保護者 (昨年度利用の方にも声かけ) 計 *名 申込/参加
	9月～11月頃 ※対面	仮)きらりの運動あそび ～作業療法士からの視点で～	坂本 操 きらり 作業療法士	児童発達支援(通園)保護者 計 *名 申込/参加
	1月頃 ※オンライン(録画配信)	仮)子どもの食事について ～栄養や量など食の基本～	宇佐見 翠 きらり 児童発達支援管理責任者	児童発達支援(通園)保護者 計 *名 申込/参加
	1月～2月頃 ※対面	ペアレント・プログラム	岩本 久美子 きらり 心理士	児童発達支援(通園)保護者 計 *名 申込/参加
	前期:4月～7月 後期:9月～11月 ※対面	ペアレント・トレーニング(幼児・年中・年長) 6回+フォローアップ1回	岡野 典子 きらり 心理士	相談・外来訓練保護者 前期:6名にて実施 後期:*名にて実施
	前期:4月～7月 後期:10月～12月 ※対面	ペアレント・トレーニング(学齢:小学生) 6回+フォローアップ1回	藍田 幸子 きらり 心理士	相談・放課後等デイサービス保護者 前期:6名にて実施 後期:*名にて実施
	5月～7月 土曜日 ※対面	ペアレント・トレーニング(年中・年長・小1・小2) 短縮版 4回+フォローアップ1回	岡野 典子 きらり 心理士	相談・外来訓練・放課後等デイサービ ス保護者 8名にて実施

令和 7 年度運営協議会開催予定

1 年間開催回数

4 回

2 開催日程 (予定)

回	開催日	時間	場所
第 1 回	令和 7 年 5 月 2 8 日 (水)	午前 1 0 時から 正午まで	前原暫定集会施設 1 階 A 会議室
第 2 回	令和 7 年 8 月 2 7 日 (水)	午前 1 0 時から 正午まで	前原暫定集会施設 1 階 A 会議室
第 3 回	令和 7 年 1 1 月 1 2 日 (水)	午前 1 0 時から 正午まで	前原暫定集会施設 1 階 A 会議室
第 4 回	令和 8 年 2 月 4 日 (水)	午前 1 0 時から 正午まで	前原暫定集会施設 1 階 A 会議室